

No.099 (不定期刊)

“Great Wall” Street Journal

長城街日報

～中国株の現場から～



東洋証券株式会社
上海駐在員事務所 所長
奥山 要一郎
2007年入社。本社シニアストラテジ
スト等を経て、2015年より現職

我和我的国慶節(愛しの国慶節)

国慶節に封切られた映画「我和我的家郷」(邦題:愛しの故郷)。世界的に有名な張芸謀(チャン・イーモウ)監督が製作総指揮を担当したオムニバス形式のホームコメディだ。昨年の愛国映画「我和我的祖国」の姉妹版と言える作品で、公開から1週間余りで興行収入17億元(約255億円)を超える大ヒットとなっている。今年の国慶節連休は、新型コロナの影響で春節(旧正月)に故郷に帰れなかった人の“帰省ラッシュ”が目立った。帰省先で家族や故郷への想いを描くこの映画を観た者も多いだろう。

★ ★ ★ ★ ★

BAKUGAI is back! 10月初旬の上海。繁華街・南京西路のナイキ販売店で早朝から長蛇の列ができていた。限定品の発売なのか、特売セールなのかはハッキリしないが、開店前からの「密」と「熱」に頭がクラリとする。シャネルの店舗では十数人の列を見かけた。有名月餅店には中高年の市民が殺到し、シーズンを迎えた上海ガニのレストランは2時間待ちの長行列。“爆”の付く消費意欲が戻ってきた。

旅行産業も賑わった。10月1日から8日までの国内旅行者数は延べ6億3700万人。昨年の7億8200万人の8割程度だが、だいぶ回復してきたと言える。今年は海外旅行に行けない分、中国国内を“再発見”する旅が多かったようだ。チベットや甘肅省、貴州省などが人気目的地だった。

その中でも今年は雲南省の人气が高かったように思う。微信(WeChat)などのSNS投稿では、大自然をバックにポーズを決める写真を多く見た。チベット文化が色濃く残る香格里拉(シャングリラ)、大理石の産地である大理、3



観光客が多数訪れる上海の「四行倉庫」跡

つの世界遺産を持つ古都・麗江……。ぜひ一度は訪れたい名所ばかり。そう言えば、これまた国慶節映画の「一点就到家」(Coffee or Tea?)で話題になった普洱(プーアール)コーヒーの産地も雲南省だ。

一方、大混雑の観光地からは恨み節も聞かれた。「来て後悔したー!」と絶叫する男性の動画が「抖音(TikTok)」で“バズった”。彼が訪れたのは、中国随一の名山である黄山(安徽省)。冷たい雨が降り注ぐ山道は登山客であふれかえり、前にも後ろにも進めない。杭州の西湖や重慶の洪崖洞(ホンヤートン)などでも同じような光景が見られた。やれやれ。

連休中には結婚式も多く開かれた。元々、春節と国慶節前後は結婚式のピークだが、今年は春節に予定していた式の“延期ニーズ”も重なり、ホテルや宴会場は大忙しだったよう。宝飾品や結婚写真などの周辺産業も盛り上がりを見せた。また、高級車のレンタル需要も増えたと聞く。中国では結婚式に先立ち、新郎が新婦を家まで迎えに行く儀式があるが、ここで奮発してメンツを保つのが中国流。お迎え用の車は高級外車が定番だ。ランボルギーニのレンタル相場はドライバー付きで1万1000元(約16万5000円)前後。大盤振る舞いです。

★ ★ ★

さて、連休中にスマホアプリを開くと「我和我的火鍋」という宣伝文句が飛び込んできた。アリババ系ネットスーパーの「盒馬鮮生(フーマーフレッシュ)」による鍋セットの販促活動だ。冒頭の大ヒット映画のタイトルをもじったのだろう。何でも活用する商売上手さには感心してしまう。中国では国慶節を過ぎると急速に秋が深まる。私が主演する「愛しの火鍋」の幕もそろそろ上がりそうだ。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

◆ 注 意 事 項 ◆

外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650%（税込み）の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650%（税込み）に相当する額が 3,300 円（税込み）に満たない場合は 3,300 円（税込み）、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買う場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して 最大 0.8800%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.75%となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

利益相反情報について

この資料の作成後、掲載された銘柄を対象とした EB 等の仕組債等を東洋証券株式会社が販売する可能性があります。また、東洋証券株式会社またはその関連会社の役員またはその家族がこの資料に掲載された企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

この資料は、東洋証券株式会社が信頼できるとされる各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。また、将来の運用成果等を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券株式会社は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

この資料の著作権は東洋証券株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

◇商 号 等：東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 121 号

◇加 入 協 会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◇本 社 所 在 地：〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1

TEL 03 (5117) 1040

<http://www.toyo-sec.co.jp/>

2020 年 10 月 9 日
審査部審査済